

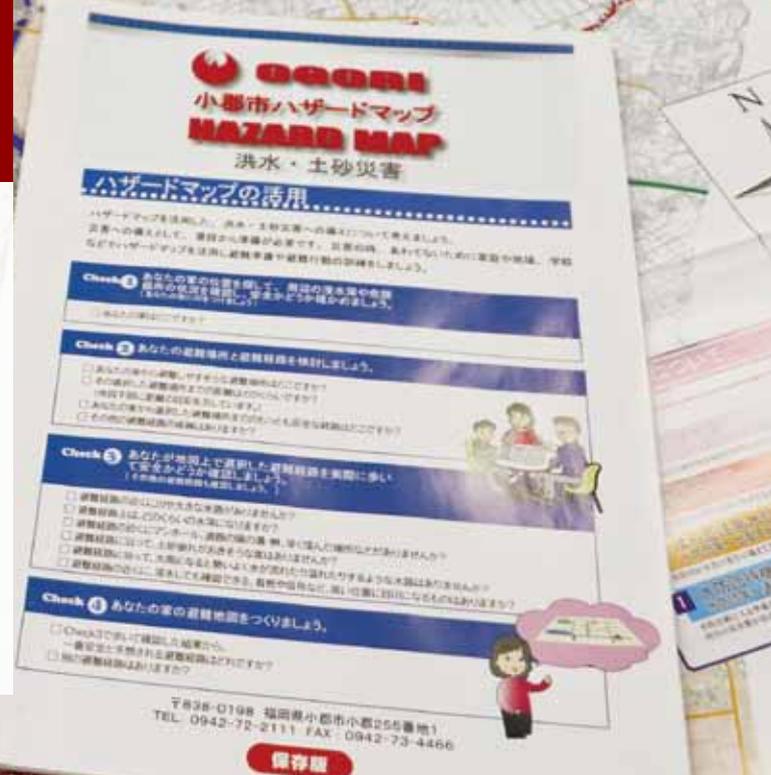
梅雨の時期に備えて

～事前の対策で、水害から命を守る～

図防災安全課防災係 ☎72-2111

近年、全国各地で甚大な被害をもたらす大規模な豪雨が多発しています。令和元年の台風19号では、各地で観測史上最大となる降水量を記録し、多くの尊い命が失われました。小郡市では人的被害はなかったものの、3年連続で大雨特別警報の発表、2年連続で住居への浸水や道路冠水などが起こりました。

大雨が予想されるとき、気象状況を知ることで、安全なタイミングで避難することができます。出庫期を迎える前に、気象状況の集め方や避難所までの避難経路などの防災対策を確認し、被害を最小限にしましょう。



家庭でできる防災対策

●情報の集め方を確認する

テレビやラジオ、アプリなどを通じて情報を得ることができます。どこから情報を集めることができるか事前に確認しましょう。

参考

- ・気象庁ホームページ
- ・ヤフー防災速報(アプリ)など
- ・次ページの「災害情報の集め方」もご確認ください



●避難所、避難経路を確認する

市内の避難所を事前に確認し、避難所までの道のりに危険な場所(道路冠水で通行できないところなど)がないか事前に把握しておきましょう。



参考

- ・洪水ハザードマップ(市役所、各校区コミュニティセンター、市ホームページ(ホーム▶暮らし▶防災▶洪水ハザードマップ)で取得可)
- ・大雨時の道路冠水警戒・注意マップ(市ホームページ(ホーム▶暮らし▶防災▶大雨時の道路冠水警戒・注意マップ)に掲載)

●非常持出袋を準備しておく

すぐに持ち出せるように、必要最小限の物を袋(リュックサックなど両手が空くもの)にまとめておき、玄関などの目につきやすく、持ち出しやすいところに置いておきましょう。

参考

- 水、非常食、生活用品、衣料品、衣類など



●家族で防災会議を開く

災害が発生したとき、家族が近くにいるとは限りません。携帯電話などが使用できない状況を想定して、連絡がとれない場合に行く避難所などを、家族で事前に決めておきましょう。

また、連絡がとれない場合の災害時伝言ダイヤル(171)や災害用伝言板の活用方法も事前に確認しましょう。



災害情報の集め方

災害時は、あらゆる手段で最新の情報を集めることが重要です。市は防災行政無線、ホームページ、フェイスブック、広報車による巡回などで情報を発信していますが、次の手段でも情報を集めることができます。

●緊急速報メール(エリアメール)

市内にある携帯電話(ドコモ・au・ソフトバンクなどの携帯電話)へ緊急速報(エリア)メールを一斉送信します。登録は不要です。

●防災メールまもるくん

県内の地震、台風、大雨などの注意報・警報情報をメールで受信できます。また、震度5弱以上の地震が県内で発生した場合、簡単な操作で、事前に登録したメールアドレスに自分の安否を知らせるメールを一斉に送信できます。



●Yahoo! JAPAN防災アプリ

ヤフー株式会社との協定により、ヤフー防災アプリを通じて、緊急情報を配信します。



Android版



iOS版

●防災行政無線の放送内容を電話とホームページで確認できます

聞き逃したとき、聞こえにくいときにご利用ください。

電話

☎050-5212-5256

自動音声で、防災行政無線の放送内容を確認できます。

※24時間以内に配信した最新の情報のみ

ホームページ

🌐<http://ogori-city.site.ktaiwork.jp>

専用のホームページで、防災行政無線の放送内容を文字で確認できます。



●川の防災情報

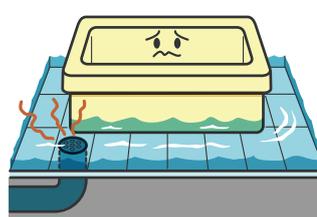
市の避難勧告などの情報は、気象状況や河川の水位などをもとに発令しています。事前に水位を確認し、早めの行動につなげましょう。



“水のう”で汚水の逆流対策 問 下水道課工務係 ☎72-2111

豪雨時は下水が逆流し、トイレや浴室、洗濯機の排水口などから水が噴き出ることがあります。「ゴポゴポ」と異音が聞こえてきたら、危険信号。

家庭でできる簡易的な対策として、水のうの設置が有効です。また、豪雨時は洗濯や風呂の大量排水によって、逆流してしまうことがあります。排水は、雨が収まってから行うようご協力をお願いします。



【水のうの作り方】

大きめ(45リットル程度)のビニール袋を二重に重ね、半分程度(20リットル程度)の水を入れます。中の空気を抜きながら、口をしっかりと縛ったら水のうの完成です。

